



第78回国民スポーツ大会冬季大会(スケート・アイスホッケー)3日目

北海道・苫小牧市にて開催されている、第78回国民スポーツ大会スケート競技会(フィギュア・スピード・アイスホッケー)。大会初日から続く勢いそのままに、この日もTEAM福岡が北の大地で躍動した。

アイスホッケー成年男子、激闘を制し1回戦突破!!

新ときわスケートセンターにて、アイスホッケー成年男子1回戦が行われ、本県は福島県と対戦した。第1ピリオドに本県が先制点を挙げ、シュート本数でも相手を上回り、ゲームをコントロールする展開が続いた。第2ピリオド、第3ピリオドでそれぞれ得点を追加しリードを保った。しかし、第3ピリオド中盤、2名の本県選手がファウルによるペナルティ(2分間退場)の間に2点を返された。その後、選手がコートに戻り、リードを守り切って3-2で勝利。1回戦を突破した。

31日に行われる2回戦では、昨年の特別国体優勝チームである北海道と入賞をかけて戦う。厳しい試合となることが予想されるが、相手は初戦となるため、1回戦を勝ち上がった本県にも勝機はある。頑張れ、TEAM福岡!

阿部一貴選手(ヤナセオートモーティブ(株))のコメント

チームで練ったゲームプランの通り試合運びが出来たため、今日の勝利に繋がった。昨年は1点がなかなか遠い試合となり1回戦で負けてしまったが、今大会では複数得点で1回戦を突破することができ、嬉しく思っている。



試合中の様子①



試合中の様子②



試合直後の様子

フィギュア成年女子 SP(ショートプログラム)、上位入賞に向けて好発進!!

nepia アイスアリーナにてフィギュアが行われた。成年女子に出場した江川マリア選手(明治大学)、鴨井彬莉彩選手(福岡フィギュアアカデミー)は納得の演技でSPを終了。終了時点で江川選手が4位、鴨井選手が12位と上位入賞に期待が持てる結果となった。

江川選手のコメント

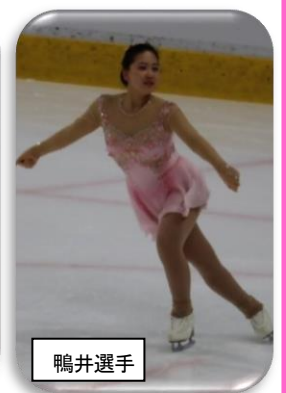
SPはベストの演技ができて達成感がある。福岡県に貢献できるよう、FSの演技も頑張りたい。

鴨井選手のコメント

31日のFSでも、ノーミスの演技を目指して頑張りたい。



江川選手



鴨井選手

フィギュア成年男子松岡選手、痛みに耐えながら魂の演技!!

成年男子の松岡隼矢選手(法政大学)は、SPで20位となり、上位24人によるFS進出を決めた。しかし、SP演技中に転倒し、右肩を壁に強打するアクシデント。激しい痛みがあり、FS出場が難しい状況であったが、「TEAM福岡として最後まで演技したい」という本人の強い思いから、演技構成を変更しFSに出場。痛みに耐えながら気迫溢れる演技を行う姿に、会場から拍手が沸き上がった。 ※松岡選手FSは24位、成年男子SP+FSの福岡県としては13位



松岡選手